

「浸炭焼入れ処理の低ひずみ化に関する研究部会」 設立のお知らせと参加者募集

ガス浸炭処理および真空浸炭処理は、鉄鋼材料の高強度化を目的として広く利用されている熱処理技術です。特に近年では、環境負荷の低減や作業環境の改善の観点から、新たな浸炭技術として真空浸炭処理の導入が進んでいます。このような背景のもと、真空浸炭に関する課題の整理および過去の研究のレビューを通じて、「課題の明確化」とそれを解決するための「キーファクター」の抽出を行うとともに、グループ討議や実験的検討を通じた次世代浸炭技術の探求が必要であると考えられます。

これらの観点から、「至近の熱処理技術と特性」（高橋学部長、2020～2021年度、後に1年間延長）研究部会の設置が承認され、「次世代浸炭技術とそのキーファクター」グループが設けられました。その後、「次世代浸炭技術研究部会」が設立され、主に若手から中堅の技術者を中心として2026年3月まで活動が行われてきました。これらの活動を通じて、浸炭焼入れ処理における熱処理ひずみが重要な課題であるとの共通認識が得られました。また、その低減手法として、「ヘテロ表面制御型浸炭焼入れ処理」や「残留オーステナイトの有効利用」などが提案されています。

本研究部会では、既存手法の検証にとどまらず、新たな低ひずみ化手法の提案および体系化を目的として、「浸炭焼入れ処理の低ひずみ化に関する研究部会」を設立します。所属や年齢を問わず、研究者・技術者はもとより、本分野に関心を有する方々の幅広い参加を期待します。

【活動期間】

2026年4月～2028年3月

【活動内容】

年3回の勉強会および研究進捗報告会を開催し、浸炭焼入れ処理の低ひずみ化に関する議論や、研究課題に関する研究進捗報告を行います。これに加え、工場見学等を通じ現場での作業や課題について議論を行います。

【発起人】

南部紘一郎（立命館大学）

【参加資格】

正会員あるいは維持会員所属の方。非会員でも、参加後にご入会頂ければ参加可能です。

【参加希望者の申し込み方法】

参加希望者は協会事務局に申し出を行ってください。

申込先：日本熱処理技術協会事務局 e-mail: jsht-honbu@jsht.or.jp

参加希望者の氏名、所属、連絡先（含む e-mail）を記入ください。

※メールのタイトルに「新研究部会（浸炭焼入れ処理の低ひずみ化に関する研究部会）参加希望」と記入ください。